

あべともこニュース

「オール新潟」米山新知事誕生

新潟県知事選（10月16日）で、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働に反対姿勢を示す米山隆一さんが当選しました。この知事選は、現職・泉田裕彦知事が4選出馬を突如とりやめ、自公両党が推薦する森民夫前長岡市長の無投票当選となる可能性もありました。泉田知事は、東電が経営再建のために急ぎたい柏崎刈羽原発の再稼働に厳しい姿勢を取り、また、新潟県技術委員会は独自に福島第一原発事故の検証を続けており、政府や国会の事故調が解散した今、貴重な役割を担っています。東電の「メルトダウン隠し」を明らかにしたことは記憶に新しいところですが、泉田知事の不可解な出馬撤回には「原子カムラ」の圧力も疑われ、知事交代で、住民の安全を第一に据えた原発対策が大きく後退することが懸念されました。

そうした中で告示直前に出馬にこぎ着けた米山さんには、参院選での野党統一候補当選の



衆議院議員 あべともこプロフィール
神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選6回（比例南関東）、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長、現在、厚生労働委員会委員・原子力問題調査特別委員会委員

市民が引つ張った野党共闘

再現を願う市民の大きな期待が寄せられましたが、推薦は共産・自由・市民の野党3党にとどまり、民進党は自主投票となりました。それでも、あきらめない市民の熱意が「オール新潟」そして事実上の「野党4党共闘」を作り上げました。

「いのちを守る」。米山さんと市民の思いに呼応して、あべともこは4度も新潟入り、また同僚議員に声をかけて回りました。知事選の争点に連動して、脱原発派やTPP反対・慎重派など民進党議員が続々と応援に駆け付け、最終盤にはついに蓮舫代表が応援演説に立ち、市民・野党共闘が実を結びました。「オール新潟」で闘った米山さんは、与党推薦で国政選挙並みの応援体制を得た森候補を猛追し接戦に持ち込み、6万票余りの差をつけ大逆転勝利を果しました。

あべともこは米山さんの勝利に力を得て、巨大与党や反省なき原発推進勢力と徹底的に対峙していきます。

ネットでも日々の活動を発信中！



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

http://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<http://www.facebook.com/abetomoko>

ホームページリニューアル

最新情報をお届けします。

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。

あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。



超党派議員連盟「原発ゼロの会」で福島第一原発を視察しました（10月3日）